

# 公益社団法人東京青年会議所 足立区委員会地区推進事業

## —未来を照らすプロジェクト— 「miratela」

# 報告書

### ～目次～

1. 社会背景と事業目的
2. 本事業の開催方法～足立区モデルケース～
3. 開催報告
4. 開催日①の様子
5. 開催日②の様子
6. 開催日③の様子
7. 模擬請願の様子

主催：公益社団法人東京青年会議所足立区委員会  
後援：足立区、足立区教育委員会

# 社会背景と事業目的

本年、我々は地域に暮らす人々が「自身が主権者である」という自覚を発現する社会を実現するため、「若年層に地域課題に対する当事者意識をもってもらうこと」を目的とした事業を開催いたしました。

足立区における課題を調査しているうちに、一つの大きな問題が起きていることに気づきました。それは、若年層世代の政治への関心度の低さです。

過去3回の衆議院議員選挙年代別推定投票率（東京）を見ると、3年連続で投票率の低下が続いており、

その中でも足立区は最も低い投票率の一つとなっていました。

さらに、足立区は東京23区の中でも4番目に人口の多い区となっていますが、他区と同様少子高齢化が進んでおり、足立区の発表している予測によると、今から30年後には後期高齢者の数が約1.4倍になることが予測されています。

このまま少子高齢化が進み、かつ若年層の政治的無関心層が増えていくことで、次世代の民主主義の担い手である若年層の意見を取り入れることができない街になってしまう可能性があります。

そこで、我々は若年層世代の政治的無関心を改善するため、若年層世代に対して自分たちが社会の在り方を決める権利と責務を有しているという当事者意識を醸成することが必要であると考えました。

そして、選挙権を持つ前の中学生に、まずは自身の身の回りにある課題を考え解決するという成功体験を積み重ねることにより「自らが考えた行動に対する自信」を養ってもらいます。

自信が高まることで、子どもたちは失敗を恐れずに果敢に挑戦していく姿勢を持つようになりますし、その子どもたちが成長した暁には、地域の問題を自ら考え、そして解決に向けて主体的に行動し、社会を変えてみせるという意識を持った大人に育つと考えました。

本事業はその一連の運動を、企画を通して子どもたちやそれにかかわる大人たちにも体験してもらうために開催することとなりました。

# 本事業の開催方法

## ～足立区モデルケース～

### ▶ 開催の背景

我々東京青年会議所足立区委員会ではまだ選挙権のない中学生たちに「自身が主権者である」という事を実感していただく事で「未来の足立区を更に良い街へと変えたい」という意識を一人でも多く持ってほしいと願っております。

そこで、足立区の中学校では職業体験を行っておりますが、それをさらに進化させようと考えたのが本事業の始まりです。

本事業は足立区立千寿桜堤中学校様のご協力のもと3年間に渡り開催して参りました。

今後は多くの中学校で同様に開催されることを願っております。

### ▶ 足立区モデルケースとは

足立区モデルケースとは職業体験を活用し、

- ①職業体験を行い、その中で足立区の課題を発見する
  - ②班を作りグループワークを行い、課題の深掘りと解決策の模索を行う
  - ③班でプレゼン資料にまとめてクラス発表会を行う  
→発表会の採点も生徒たちが行います
  - ④クラス発表の上位班は学年発表を行う
  - ⑤最優秀班のプレゼンは区に模擬請願を行う
- というものです。

上記を開催する事で生徒は「考える力」「話す力」「聞く力」「協力する力」が身につく、今後高校、大学、社会と進む際にもこの経験は生きていくものと考えます。

# 開催報告

## ▶ 開催日

- 開催日① 2023年6月30日
- 職業体験 2023年7月10日～12日
- 開催日② 2023年7月13日
- 開催日③ 2023年9月21日

## ▶ 開催場所

足立区立千寿桜堤中学校

## ▶ 参加者

足立区立千寿桜堤中学校2年生一同

本事業では、千寿桜堤中学校の2年生が職業体験を通じて足立区の課題を見つけ、グループワークを行い「どのようにしたら問題を解決できるか」を考え、プレゼンにまとめ発表会を行うという企画です。

今回の事業では大変多くの職業体験先企業様のご協力をいただきました。

千寿桜堤中学校の生徒の皆さんは足立区の課題について真剣に話し合い、たくさん悩みながら解決策を考えました。

プレゼン資料の作成にも多くの時間と労力を使った結果、大変すばらしい発表会を開催することができました。

公益社団法人東京青年会議所足立区委員会 委員長 北澤 龍一

実行委員長 小貫 隆介

実行委員長連絡先 onuryu22@outlook.com

## 開催日①の様子



☆北澤委員長の開会挨拶



☆小貫実行委員長の事業説明

開催日 1 日目は体育館にて本事業の全体説明会を行いました。課題のを見つけ方や解決策の考え方を実例を用いて説明しました。例題として何名かの生徒に「学校の課題」について質問し、答えていただいた課題について隣に座っている生徒と話し合い、解決方法を考えてくれた生徒に答えてもらいました。そこでは「解決方法は自分の希望ではなく他の人も喜ぶ解決策なのか」「どうしてその解決方法に至ったか」などを聞くことで実際に職業体験を行う際に課題を見つけるヒントとなりました。

また、説明会開催後にはVR体験会を開催致しました。初めて体験する生徒たちは「本当の世界が目の前にあるみたい!」と、とても楽しそうでした。近い未来、VRの世界でも選挙が行える時代が来るかもしれません。



☆初めてのVR体験に  
不安で手を繋いでいます



☆初めてのVR体験

## 開催日②の様子



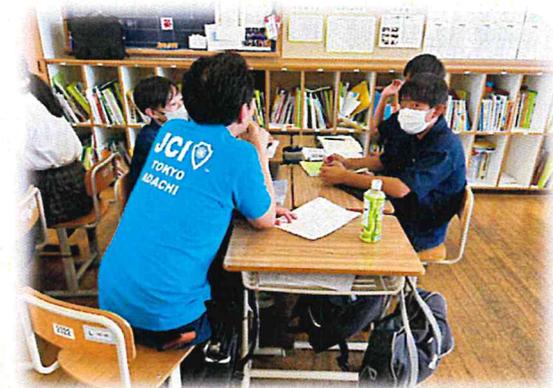
開催2日目は班ごとに分かれて職業体験を通じて見つけた課題を話し合い、解決策を見つけるというグループワークを行いました。

パソコンの画面を班で共有しながら、考えた解決策をプレゼンにまとめていきます。

我々青年会議所のメンバーや協力団体の皆さんでファシリテーターを行いながら、行き詰っているグループやパソコンの操作方法がわからない生徒にアドバイスをし円滑に進めるよう努めました。

「解決案はすでに足立区が行っていることではないか」など、パソコンで周辺知識をインターネットで調べながら進める生徒たちはとても楽しそうでした。

生徒自ら考えた課題と解決策を仲間と話し合い、ブラッシュアップすることができました。



## 開催日③の様子



開催日3日目はクラス発表会で生徒たちの投票にて選ばれた6チームによる学年発表会を開催致しました。

代表に選ばれたチームはクラス発表会を経て、内容を更にブラッシュアップして挑みました。

多くの人での発表は大人でも緊張するものです。

しかし代表の生徒たちはこの日のために何度も何度も練習をした結果、自信をもってとても堂々と発表を行っていました。

この事業を通じて生徒の皆さんが成長していることをとても実感しました。

結果発表の際は最優秀賞のチームが声を上げて喜んでいる姿を見て、とても感動しました。

この「miratela」を通じ、一人でも多くの生徒の未来が明るく照らされることを我々東京青年会議所足立区委員会は願っております。



## 模擬請願の様子



最優秀賞に選ばれた生徒とともに足立区議会議長工藤てつや様に模擬請願を行ってきました。議長の前ではとても緊張している様子でしたが、モニターを使用し、とても素晴らしい発表でした。発表後には学年発表に進んだ6チームのプレゼン資料もお渡しさせていただきました。生徒たちの意見が声が足立区に届くことで、足立区がより良い街になることを信じています。

